



該当するSDGsゴール



宇部市はSDGs達成を目指しています

テーマ (1) 次世代技術

■ 解決したい課題

年間100万人以上の方が利用する公園ですが、利用者の約半数が60代以上の方であり、また約80%が宇部市在住の方となっています。

利用目的は、市内ファミリー層が中心の動物園や遊園地のほか、ウォーキングやランニング、各種イベントへの参加が多くなっています。現在は、このように限定的な利用目的となりつつあることから、客層が固定化している可能性があります。

ときわ公園を魅力あふれる公園にするためには、これまでの利用者はもちろんのこと、新たな付加価値を付け、平日の日中やイベントのない土日でも来園してもらえ、わざわざときわ公園に行ってみようと思える仕掛けや人の掘り起こしが必要です。

なお、基本的には、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用される公園を目指していますが、今後は若者の集客も求められます。





■ 実現したい課題

次世代技術の活用のほか、新技術と既存技術の組み合わせなどにより、ときわ公園が持つポテンシャルが最大限に発揮され、そこに新たな技術活用により魅力が加わることで、年齢・性別や障害の有無などに関わらず誰もが訪れてみたい公園、そして他地域と差別化が図られた公園を目指します。

そのために、今回、実証実験にとどまることなく、将来的な実装を目指して、企業等が新たなサービスや製品の実証場所として活用し、とにかく訪れさえすれば、いつでも楽しめるフィールドとなるための実証提案や実証事業を募集します。

<実証提案・実証事業の例>

- ・本市やときわ公園が持つ様々な資源を活かしながら、次世代技術等による新たな公園の使い方や楽しみ方の実証
- ・石炭記念館×彫刻など公園で学ぶことができる本市の歴史や文化、自然環境を踏まえた次世代技術等によるSTEAM教育の教材、カリキュラムの実証
- ・次世代技術等を活用した、障害のある方や認知症の方が、公園内で1人で活動しても安全な過ごし方の実証





■ これまでの市の取組

- ・ 「テクノロジー×アート」 イベントの開催（平成28年～令和元年）
- ・ うべ産業共創イノベーションセンター 志における5G実証実験環境の整備（令和2年11月～）
- ・ 5G/VRコンテンツ制作プロジェクトや5Gに関するセミナー等の実施（令和2年～）

